

# 文学・文化に関する一般的な事柄を調べる (2008 年度版)

『日本国語大辞典』  
『広辞苑』第六版

『広辞苑』より、先にこちらを見るべき！

『日本近代文学大事典』 日本近代文学館編 全6巻 講談社 1977-78  
第1～3巻：人名 第4巻：事項 第5巻：新聞・雑誌 第6巻：索引  
日本近代文学館収蔵資料をもとに、今日までのわが国近代文学の研究成果を集大成し

近代の基本文献。  
図書館と近代文学研究室に購入してあります。

『現代日本文学大事典』 久松潜一他編 明治書院 1968

明治・大正・昭和期を対象とする近代日本文学総合事典。初版を全体的に補正し、初版の事項のほかに、新しく100余項目組み入れている。

『日本現代文学大事典 作品篇 \*人名・事項篇』 三好行雄他編 明治書院 1994

『日本文学大辞典』 藤村作編 全8巻 新潮社 1950

古代から大正末年までの日本文学・国語学および芸術・外国文学等の関連事項を網羅的に集め、各専門家が詳細に解説し評価した事典。

『日本児童文学大事典』 大阪国際児童文学館編 全3巻 大日本図書 1993

『文芸年鑑』 『出版年鑑』 日本文芸家協会編 新潮社

毎年の日本文芸・文壇の主要事項を記録。各分野の概況、創作目録、雑誌目録、人名録などを収録。

## 全集や短編集以外で、個人の著作が調べられるもの。(つまり、全集がない場合)

『新現代日本執筆者大事典』 紀田順一郎ほか編 日外アソシエーツ 1992 全5冊  
約12,000人の文献情報を収録。

『日本著者名総目録』 日外アソシエーツ 1987～

『日本の小説全情報』『日本の詩歌全情報』 日外アソシエーツ 上・下巻 1987、1988

戦後文学の状況調査においては、基本的文献。

## ある人物の情報を知りたい場合(気になるあの人)

『日本人物文献索引』 日外アソシエーツ 1994

「文学80\*90」と「政治・経済・社会80\*90」からなる。

『日本人物文献目録』 法政大学文学部史学研究室編 平凡社 1974

明治初年から昭和41年末までに刊行された図書・逐次刊行物の記事で、日本人の伝記に関する文献を収録。

『人物文献目録』 森睦彦編 日外アソシエーツ

「日本人編」と「外国人編」からなる。収録期間内に刊行された図書・雑誌から、和文の人物文献を収録。

『人物文献索引』 国立国会図書館参考書誌部編

人文編：昭和20～39年刊行分 経済・社会編：明治以降～昭和43年刊行分

法律・政治編：明治以降～昭和46年刊行分

国立国会図書館所蔵の邦文資料のうち、内外の人物の伝記関係文献を収録。

『人物書誌索引』 深井人詩、渡辺美好編 日外アソシエーツ

『国立国会図書館所蔵 近代日本政治関係人物文献目録』 国立国会図書館参考書誌部編 1985

政治の分野に関わった日本人約3800名の伝記的事項を含む文献約13,000点収録。

『日記・評伝全情報』 日外アソシエーツ

日本・東洋編 上・下/西洋編 1991

日本・東洋編/西洋編 1995

『人物研究・伝記評伝図書目録』 図書館流通センター 1994

日本人・東洋人篇 上・下 / 西洋人篇

『伝記・評伝執筆者事典』 日外アソシエーツ 1995

## 全集・短編集の中の個々の作品を調べる

『全集・叢書総目録』全6冊 日外アソシエーツ 1992

1945年から1990年にかけて刊行された国内の全集・叢書類を集めた目録。

戦後の全集・叢書を一望できる。

2 人文、3 社会、5 芸術・言語・文学については、1991～1998年刊行の目録もあり。

『現代日本文学総覧シリーズ』 日外アソシエーツ

『世界文学総覧シリーズ』 日外アソシエーツ

『個人著作集内容総覧』 日外アソシエーツ 1998

『作家名から引ける日本文学全集案内』 日外アソシエーツ 1984

『作品名から引ける日本文学全集案内』 日外アソシエーツ 1984

『作家名から引ける世界文学全集案内』 日外アソシエーツ 1992

『作品名から引ける世界文学全集案内』 日外アソシエーツ 1992

## 雑誌論文等を調べる

『国文学年鑑』 国文学研究資料館編 至文堂

共同研究室にあるけど、パソコンで検索したほうが早い(下記参照)。過去論を調べる際には、最も重要な手段。

Hint:芥川龍之介の場合、「芥川」「龍之介」と別々に引いた方が正しい結果を得られる。

『国文学研究文献目録』(昭和38～54年)を改題したもの。国文学研究の基本文献。

収録は、図書・雑誌紀要論文。図書には詳しい解説が付いている。

巻末に執筆者索引があり、対象年度の論文を調べることができる。

『近代雑誌目次文庫』 ゆまに書房 1989～

本館 書庫(書誌) 0460032 DDC:016.05 / K51 / 21

人文1階 開架A(禁帯出) 0611011 DDC:016.05 / K51 / 21

### 国語・国文学編

明治以降昭和末(昭和64年1月7日)までに国内で刊行された、国語・国文学関係諸雑誌(和雑誌)の総目次の集成。収録対象は、専門学術雑誌(学会誌・紀要)や機関紙・研究会誌等。文学作品を主とする文芸誌や詩誌は除く。

## 外国語・外国文学編

明治以降平成 7 年 6 月までに国内で刊行された、外国語と外国文学に関する研究雑誌の総目次の集成。収録対象は、専門学術雑誌、機関紙、研究会誌等。文芸誌等は除く。英文で書かれた論文も収録されている。

### 国文学研究資料館データベース（オンライン情報検索）

<http://www.nijl.ac.jp/databases/databases.htm>

国文学研究資料館の蔵書の一部をランダムに検索できる。『国文学論文目録データベース』（『国文学年鑑』収録分）が便利。上記参考。

### 日本国内図書館 OPAC リスト

<http://ss.cc.affrc.go.jp/ric/opac/opaclist.html>

各大学の所蔵図書を自宅で一覧できる。他大学に出かける前にチェックするべし。

### 国会図書館蔵書検索

<http://webopac2.ndl.go.jp/>

国会図書館の著作を検索。出かける前に請求番号等もチェックすると仕事がはやい

### 立教大学蔵書検索

<http://opac.rikkyo.ac.jp/>

上記から移動して、「お気に入り」登録して下さい。

### 紀伊国屋ホームページ

<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/certif.cgi>

会員登録（無料）すると検索の件数が増える。現在刊行中の著作をしらべるのに便利。

### 古本屋（絶版本。でもどうしても欲しい！）

<http://www.book-kanda.or.jp/> （神田古本屋街）

<http://www.crypto.ne.jp/oldbookmark/> （古本散策の栞）

<http://www.kosho.jp/> （日本の古本屋）

<http://www.murasakishikibu.co.jp/oldbook/sgenji.html> （スーパー源氏）

<http://www.e-shop.co.jp:8014/bunko/gp01.s01> （ふるほん文庫屋さん）

### 日本文学のテキストファイル入手

<http://kuzan.f-edu.fukui-u.ac.jp/bungaku.htm> （日本文学テキストファイル）

<http://www.aozora.gr.jp/> （青空文庫）

文学作品の無料テキストファイル入手。語句検索に便利。

パソコンで整形可能なもの。テキスト語句の検索や統計が可能。

## その他、目的別

### 書評を探したいとき

『日本文学書評年報』 文学書評年報刊行会 年刊

ただし、最近の書評は、ネットや国会でも検索可能になってきている。

### 文学賞をもらった作品

『最新文学賞事典』 日外アソシエーツ 1994

### 翻訳図書を探したい時

『翻訳小説全情報』 日外アソシエーツ 1994, 1999

『明治大正昭和翻訳文学目録』 国立国会図書館編 風間書房 1972

『翻訳図書目録』 第3巻 芸術・言語・文学 日外アソシエーツ 1984

### ある時期の文壇評論情况を知りたい

『近代文学評論体系』 全十巻 角川書店 1971 - 75

最後の巻の年表が便利。時代の代表雑誌と文壇のトピックを知ることが出来る。

『文芸年鑑』 『出版年鑑』

上述は戦前の文壇状況下術は、戦後の文壇情報を調べるのに使用。

### ある時期の時代状況を知りたい

『近代日本総合年表』 岩波書店 最新版は第四版

時代の社会・政治・文化が一望可。記事の出典（一次資料）がわかるのが便利。

『実録 20世紀』 『週間 20世紀』

資料の出典がわかる年表

### 簡単に同時代評と先行研究を入手したい

『近代文学研究叢書』 昭和女子大

作家の同時代評論と先行研究をすぐ得られる。ただし、記事には間違いが多い。院生室に収録作家の一覧があり。死去の順に作成しているので、最近まで存命の作家は、刊行されていない。

ただし、情報の間違い多し！

### 事項を調べるのに便利なもの

- 地方史（例：『文京区史』 『神奈川県史』 など）
- 業界史（例：『生命保険協会 70 年史』 など）
- 社史（例：『東芝 100 年史』、『都電 60 年の生涯』 など）
- 各種文化史（例：『轍の文化史』、『モダン化粧史』）
- 統計（『数字で見る日本の 100 年』 など）
- 年表（『実録 20 世紀』 『明治・大正家庭史年表』 など）
- 白書（『犯罪白書』 など）
- 古地図
- 時刻表（復刻版）

**国会図書館**（国会議事堂前・永田町）

朝の一時間のみ三冊同時請求可能。（普通は二冊）。資料の平均出庫時間は二〇分。事前にホームページで資料の請求番号を把握しておくのがお勧め。コピーは、「後日受け取り」か「自宅郵送」にした方が、一日にこなせる仕事量が多い。研究者登録（無料）しておく、夕方五時三〇分以降も使用可能。夕方以降は、コピー不可だが、出庫は早いので閲覧に便利。

**都立中央図書館**（広尾）

コピーは国会と同じ（３０円）だが、資料の出庫は早い。

**豊島区立中央図書館**

立教から一番近い、大きな図書館。書庫にそこそこの専門書の蔵書をもつ。

**近代文学館**（駒場・横浜・世田谷）

コピーは高い（１００円！）。登録は有料（３００円？）。資料の出庫が早いため、大量の閲覧には便利。横浜の方が、同人誌等の資料は充実している。